

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		都市型ビジネスの立地促進				整理番号	134		枝番号	
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051502	連絡先電話番号	3075		昨年度整理番号	131
係名 産業・就労支援係					上位施策名			No		
予算事業名 みどりの産業の振興					コード	17500		新しい産業の育成・支援		44
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 14 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区創業支援施設運営要綱					
	みどりの産業分野で創業を予定している個人、もしくは法人、または創業3年未満の個人・法人。起業に興味のある学生。				(2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 創業予定者に対しSOHO事務所を貸す。創業を志す人にセミナーを開催し、起業のための基礎的な知識や情報を提供する。創業に興味がある学生を対象に講座を開催し、将来起業する意識をはぐむ。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区内で創業、起業したいという気運を高める事により、都市型ビジネス事業者の開業を促し活気あふれるまちづくりに貢献する。					
活動指標名(式) (1) 入居事業所数 (2) セミナー参加者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 入居して事業活動を行っている事業所数 (2) 起業・創業数						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		所	8	9	9	9	9	100.0	
	活動指標(2)		人	197	212	200	76	200	38.0	
	成果指標(1)		所	8	9	9	9	9	100.0	
	成果指標(2)		件	5,327	4,982	6,327	4,982	6,327	78.7	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,537	12,598	15,640	7,984	11,826	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 成果指標(2)の創業、起業数は、事業所統計調査が5年に1回のため、昨年度と同様。	
	(内)投資的経費等		千円							
	(内)委託費		千円	3,000	3,000	3,400	1,439	4,699		
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.03	0.83	0.80	0.84	0.80		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	9,264	7,553	7,248	7,610		7,248
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +		千円	16,801	20,151	22,888	15,594	19,074		
	単位あたりコスト(-)÷		円	2,100,125	2,239,000	2,543,111	1,732,667	2,119,333		
	財源	受益者負担分		千円	3,118	2,923	3,441	2,834		3,391
		国・都等からの支出金		千円						
特定財源計 +		千円	3,118	2,923	3,441	2,834	3,391			
差引:一般財源 -		千円	13,683	17,228	19,447	12,760	15,683			
受益者負担比率 ÷		%	18.6	14.5	15.0	18.2	17.8			
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)		
		阿佐谷キック・オフ/オフィス運営				9	室	7,245		
		起業家養成講座(起業向け・中高生向け)				2	回	739		
		その他 ()						0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	38.0	17年度予算執行率%	51.0
		コミュニティビジネスセミナーは、15・16年度開催し、現在も数社が事業を継続している。17年度は、既設事業所の事業の充実やより多くの創業を目指して、これまでのセミナー内容を見直し、より効果的な事業運営を模索をしたが実施には至らなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		起業支援セミナーはこれまで入門から事業計画までを通した1部制だったが、17年度から、男女平等推進センターの「女性のための起業支援セミナー」と一体となり、初級編・中級編の2部制とした。結果、受講者のレベルにあったセミナーとなり、好評だった。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	阿佐谷キック・オフ/オフィスの、JR阿佐ヶ谷駅前という立地条件および施設内の情報通信環境も高く、入居者から好評である。入居者の事業分野は、情報通信・コンピュータソフトなどが多く、入居者同士の仕事のやりとりもある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	起業家養成講座は受講者によって起業意識に差があるため、受講者のニーズにあった講座内容が望まれている。また、区主催の講座に参加することで区からの援助・委託事業などを期待する声がある。					
	今後の予測	団塊の世代の人たちが地域に戻ってくることが予想されるため、その人たちの持っている能力やネットワークなどを活用するための育成講座・支援セミナーの充実、活動場所の提供などニーズが高まる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 専門能力を持った団塊世代が果たす役割は地域の課題解決に有効となるため、コミュニティビジネスの起業を決断する際のきっかけとなる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 各セミナーの実施方法の見直しを行い、内容・講師など全体をコーディネートする団体と調整しながらすすめる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: すでに必要な参加費を徴収している。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: すでにNPO等に事業の委託を行っているためコストを抑えるのは困難である。予算の中で内容の充実を図っていきいたい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: セミナーはすべてNPO等に委託している。今後、セミナーを委託していくにあたり、それぞれの講座に適したノウハウをもつNPO等の開拓が課題である。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 創業セミナーは、受講者によって起業意識に差があるため、起業意識別に講座を開催することで創業・起業希望者のニーズにこたえられる。コミュニティビジネスセミナーは団塊の世代が地域に戻ってきたときに地域で活躍できる基盤づくりのためにも気軽に参加できる講座を行う。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 それぞれの講座に適したノウハウをもつNPO団体等を見つけ出し連携をしていく。また、他課とも連携をする必要がある。							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	現在実施している阿佐谷キック・オフ/オフィスの貸出、コミュニティビジネスセミナー・起業家養成講座については、現状予算規模の中で内容を見直し、NPO団体等と連携を図りながら実施していく予定。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		アニメの杜すぎなみ構想の推進(アニメイベント)			整理番号	137		枝番号		
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051503		連絡先電話番号	3077		
係名		アニメ係			上位施策名	No				
予算事業名		アニメの杜すぎなみ		コード	17700		新しい産業の育成・支援	44		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1)					
	区民、アニメ産業関係者、アニメに関心のある方				(2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) アニメ産業の発展・支援のため、区内アニメ事業者のPR支援 アニメ専門学校紹介事業 アニメ作品上映 アニメーションの理解を深めるための子供向けのワークショップ等に取り組む。また、杉並アニメキャラクターを公募し、広域的な活用に取り組む。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区域の産業資源であるアニメーションを題材としたフェスティバルの実施や杉並アニメキャラクターを活用し、アニメーション産業の振興及び地域住民の多くの人々にアニメーションに親しみ、理解を深めてもらう機会を提供することを目的に実施する。					
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) アニメーションフェスティバル来場者数				(1) アニメーションフェスティバル来場者数						
(2)				(2)						
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)	人	8,850	6,930	7,000	7,965	9,000	10,000	79.7	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	人	8,850	6,930	7,000	7,965	9,000	10,000	79.7	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	7,128	8,000	8,000	10,699	18,200	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円								
	(内)委託費	千円				2,497				
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.61	0.52	0.50	1.04	1.00			
	人件費	千円	14,480	4,732	4,530	9,422	9,060			
	常勤職員分(超勤分含む)	千円								
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	21,608	12,732	12,530	20,121	27,260			
	単位あたりコスト(-)÷	円	2,442	1,837	1,790	2,526	3,029			
	財源	千円								
受益者負担分	千円									
国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	21,608	12,732	12,530	20,121	27,260				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)			
	アニメーションフェスティバル負担金				1	式	6,000			
	東京国際アニメ負担金				1	式	2,000			
	事業委託料				1	式	2,497			
	その他 (需用費、賃借料)						202			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	113.8	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	133.7
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度から開催し、今年で6回目を迎えるがアニメーション産業の支援・情報発信・普及啓発に貢献を果たしてきた。特に今年3月に開催した際は、アニメーションミュージアムの運営を委託している日本動画協会と連携を図り、今まで以上に多くの情報を発信することができた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	アニメーションフェスティバルや小学校の土曜日学校等でパラパラアニメやクレイアニメのワークショップに対する参加も多く、アニメーションの制作を体験したいという要望が多い					
	今後の予測	現在、杉並区のほか東京都を始め周辺地域でフェスティバルを開催している。今後は周辺各自治体が連携をすることにより、「世界一のアニメ産業集積地」であることをPRすることができる。また、杉並アニメキャラクターを活用し違う側面から普及啓発することが可能となる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 今年度6回目を迎えるアニメーションフェスティバルはアニメーション産業のPR・アニメの普及に大きく貢献してきた。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 前年度、アニメーションミュージアムの企画展等と連携させることで大きな成果を上げた。今後は更に日本動画協会と連携していくことで内容を充実させることができる。また、杉並アニメキャラクターを活用することによりフェスティバルの幅を広げることができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 前年度は、ワークショップ材料費を自己負担にしたが、大変な人気であった。各社体験参加費・映画鑑賞費として負担を求めても来場者が減らないようフェスティバルを充実させることで受益者負担は可能である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: 動画協会を中心とし、アニメーションミュージアムの企画店との連携や都、近隣区市(練馬区、三鷹市、武蔵野市)と連携して開催することにより内容の重複を避けることができる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	現在は区が主体となり杉並アニメ振興協議会、東京商工会議者杉並支部の協力を得て開催している中に、アニメーションミュージアムの運営を委託している日本動画協会と連携をとりフェスティバルは充実したものになっている。今後は区主体ではなく団体主体の事業になるように調整を図っていく。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 アニメーションフェスティバルは、区が主体となり杉並アニメ振興協議会、東京商工会議者杉並支部、アニメーションミュージアムの運営を委託している日本動画協会などと連携を取り開催している。今後は区主体ではなく団体主体の事業になるように調整を図っていく。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 アニメ制作会社は、本来の業務が多忙のため余裕が無く、フェスティバルなどの事業に割く時間が取れない状況である。今後はフェスティバルのプロデュースを担当したアニメーターに費用弁償する等参加意欲を持たせることが必要である。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 アニメ振興協議会や動画協会などを中心とし、今年度と同程度の予算の中で進めていく。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		アニメの杜すぎなみ構想の推進(人材育成)			整理番号	138		枝番号	1		
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051503		連絡先電話番号	3077		昨年度整理番号	134
係名				アニメ係				上位施策名		No	
予算事業名				アニメの杜すぎなみ		コード	17700		新しい産業の育成・支援		44
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		14 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			アニメーターを目指す個人		(2)					
	活動指標名(式)			(1) 研修生一人あたり費用 (2) 研修生受入れ数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 動画作成工程が韓国や中国など海外に下請けに出され、空洞化してきている「作画」技術者の人材育成を行うことにより、制作会社への雇用につなげることを目的とする。					
成果指標名(式)			(1) 研修修了者の内、実際にアニメ制作会社に就職した人の割合 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 研修修了者の内、実際にアニメ制作会社に就職した人の割合 (2)						
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
	活動指標(1)	千円	470	586	500	655	500	400	163.8		
	活動指標(2)	人	6	7	8	8	8	10	80.0		
	成果指標(1)	%	83	80	88	75	88	90	83.3		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,643	3,320	4,000	3,930	4,000	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	2,643	3,320	4,000	3,930	4,000			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.50	0.52	0.50	1.04	1.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,497	4,732	4,530	9,422			9,060
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	7,140	8,052	8,530	13,352	13,060			
	単位あたりコスト(-)÷		円	15,191	13,741	17,060	20,385	26,120			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	7,140	8,052	8,530	13,352	13,060				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		事業委託料					1	式	3,930		
		その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	131.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	98.3
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成14年度から事業を開始し、19名の修了生を出している。その内アニメ制作会社在籍者の中には動画から原画部門に昇格している者も出てきている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	日本のアニメ産業の実態とともに、杉並区がアニメ産業振興策として、人材育成に力を注いでいることがマスコミなどを通じて多くの人に知られるようになってきた。このことにより、区内外問わず「杉並アニメ匠塾」に対する応援、期待の声が多く寄せられている。				
	今後の予測	現在のアニメ産業の現状では、今後、さらに空洞化が進み、日本のアニメーター不足が加速していくことが予想される。そのため、優秀なアニメーターの育成が業界として大きな課題となっていく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由) ▼	アニメ業界全体としてはデジタル化が進んでいるが、原画等の作画部門がの人材が不足している。しかし、アニメ制作会社は中小企業が多く企業内で人材を育成していくことが、非常に難しい状況にある。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() ▼ 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容) ▼	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:今年、区内に日本最大級のアニメ制作会社が進出予定である。このような会社や動画協会などアニメ振興協議会加盟会社以外も含めた展開をすることにより研修生の定員を増やすことが可能となる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容) ▼	理由または具体的内容:現在の制作会社での研修だけでなく講演会等の機会を増やすなどカリキュラム、スケジュールの充実を図ることにより、研修参加費を徴収することも考えられる。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容) ▼	理由または具体的内容: 現行予算で受入れ研修生を増やすことにより、一人当たりのコストを下げることは可能。				
	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) ▼	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) ▼	協働等による成果と課題 杉並アニメ振興協議会に研修生の指導を委託している。					
(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容) ▼						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在、杉並アニメ振興協議会に業務委託している。その中で受入れ制作会社を増やすことは非常に困難な状況にある。今後は、今年、区内に日本最大級のアニメ制作会社が進出してくる、このような会社や動画協会などアニメ振興協議会加盟会社以外も含めた展開をし、研修生の定員を増やしていく。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	今年、区内に日本最大級のアニメ制作会社が進出してくるので、このような会社や動画協会などアニメ振興協議会加盟会社以外も含めた展開をし、研修生の定員を増やしていけるよう交渉を図る。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並アニメーションミュージアム運営				整理番号	138		枝番号	2		
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051503		連絡先電話番号	3077		昨年度整理番号	135	
係名		アニメ係				上位施策名			No			
予算事業名		アニメーションミュージアム運営		コード	17720		新しい産業の育成・支援			44		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		15年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1)							
	区民、アニメ産業関係者、アニメに関心のある人		(2)									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		日本のアニメの歴史や制作行程を紹介し、アニメを体系づけて学び、体験できる施設として運営。アニメ監督などの人物アーカイブをはじめ、アニメ関連資料を展示する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 子どもからシニアまで幅広い世代に、アニメに親しむ機会を提供し、アニメ産業に対する理解を深めてもらうとともに、アニメのまちすぎなみを周知する。							
活動指標名(式)		(1) 年間来場者数 (2) 開館日数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 一日あたり来場者数 (2)								
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	5,246	10,694	計画	実績	50,000	45,071	50,000	55,000	81.9
	活動指標(2)		日	308	23	305	306	306	306	306	306	100.0
	成果指標(1)		人	17	465	164	147	164	180	81.7		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,525	101,412	48,777	47,923	53,091	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) アニメーションミュージアムは平成17年3月5日に開館したため1ヶ月間の来館者数を活動指標として掲載し、平成15年度実績についてはアニメ資料館として開館していたため、その指標を掲載した。			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円	6,017	86,004	44,065	44,209	46,882				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.50	0.50	0.50	1.04	1.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,497	4,550	4,530	9,422				9,060
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +		千円	16,022	105,962	53,307	57,345	62,151				
	単位あたりコスト(-)÷		円	3,054	9,909	1,066	1,272	1,243				
	財源	受益者負担分		千円			2,850					
		国・都等からの支出金		千円		58,000		4,000				10,000
特定財源計 +		千円	0	58,000	2,850	4,000	10,000					
差引:一般財源 -		千円	16,022	47,962	50,457	53,345	52,151					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		アニメーションミュージアム運営委託					1	式	42,843			
		アニメ資料収集需用費					1	式	1,744			
		ワークショップ事業委託					1	式	993			
		アニメーションミュージアム運営需用費					1	式	700			
		その他 (建物等管理委託、機械賃借料、備品購入費等)					1	式	1,643			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	90.1	活動指標(2)の17年度達成率%	100.3	17年度予算執行率%	98.2
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年4月1日に、「杉並アニメ資料館」を設置し、平成17年3月5日に杉並区アニメーション産業振興の核となる施設として拡充し、「杉並アニメーションミュージアム」として開館し、運営を日本動画協会に委託している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)						
	今後の予測	日本動画協会に運営を委託したことで、会員各社の協力が得られやすくなった。今後は、動画協会を中心に国、都と連携をとり、個々の役割を確立していくことで、「杉並アニメーションミュージアム」価値を高められる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	16年3月会館以来、 ・区内小学生の課外学習のほか、修学旅行、海外からの見学者が増えている。 ・ワークショップなどを開催し、アニメに対する理解を深める機会に提供ができています。 ・企画展の充実により、リピーターも増えてきている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容： 理由または具体的内容： 運営を動画協会に委託したことにより、民間のノウハウや経験を有効活用し、ワークショップや企画展を充実させることにより来館者を増やすことができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容： 修学旅行やツアー客などの来館者に、見学だけでなくワークショップなどプログラムとして用意する。その際、材料費などを自己負担してもらうことにより、記念として成果物を持ち					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容： 資料収集について、動画協会を中心とし、国、都との調整を図り役割分担を明確にすることにより「杉並アニメーションミュージアム」収集すべき資料を決定していくことで、コスト					
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 運営を動画協会に委託したことにより、民間のノウハウや経験を有効活用し、ワークショップや企画展を充実させることにより来館者を増やすことができた。 今後、人物アーカイブの充実などアニメ資料の収集を進めるとともに、国や都とも連携を図りアニメ関係の情報発信機能の充実を図っていく。						
(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)							
今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後、動画協会を中心に民間のノウハウや経験を有効活用し、更にワークショップや企画展を充実させていく一方で人物アーカイブなどアニメ資料の収集を進め、アニメ関係の情報発信機能の充実を図っていく。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 証言してもらいたいクリエイターの多くが多忙のため、時間的に余裕が無い。今後動画協会以外の団体(アニメーション協会、アニメーション学会)などにも協力を要請し、連携を進めていく。							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 企画展やワークショップの充実を図る一方で人物アーカイブをはじめとした資料の収集を進めていくが、今年度と同程度の予算で進めていく。						